

1. 京都府下他市町村の事例

(1) 伊根町：地域力向上支援金事業補助金

【支援メニュー】

①京都府地域力再生 PJ の交付事業を支援

②上記以外の市民活動全般

【審査方法】

公開プレゼンテーション

- ・申請団体が審査員に対して事業のプレゼンを実施し審査員が採点する
 - ・採点結果を町長に伝え、最終的には町長が交付を決定する
- ※審査員…各区長(9人)、有識者(福知山公立大学教授)、行政職員(課長級)

【審査項目】

公益性 ※各科目特に定義はなし。あくまで町長が判断する際の資料の一つ

発展性

地域性

必要性

先導性

魅力性

まちの活性化への寄与

(2) 南丹市：市民提案型まちづくり活動支援交付金

【支援メニュー】

①自由提案型事業

自由なテーマで提案した地域課題の解決を目指す事業

②課題設定型事業

市が設定したテーマに基づき提案した地域課題の解決を目指す事業

※各コース、市内を主な活動範囲とする市民団体を対象にした「一般枠」と
市内に拠点を置く、または南丹市と協定を締結している学校の学生が行う事業を対象にした「学生チャレンジ枠」がある

【審査方法】

内部審査会

市職員が市職員および有識者に対しプレゼンを実施し、その意見を市長に伝える

【審査項目】

課題の把握

提案内容は、地域課題や市民のニーズに沿ったものであり、不特定多数の者の利益、または、地域の利益につながる公益性の高い活動であるか

斬新さ

市民のアイデアが生かされた先駆的な事業であるか

実現性

内容、予算、実施体制などが着実に実行できると認められるものか

継続性

単発イベント等による手法ではなく、事業が継続する手法であるか

自主性・自発性

地域や団体間で話し合いがされ、事業に取り組もうとする姿勢に、熱意や意気込みが感じられるか

（３）長岡京市：市民活動応援補助金

【支援メニュー】

①スタートコース

市民活動を始める団体に対する支援

②ステップアップコース

市民活動をこれまでも行ってきた団体に対する支援

③提案公募型協働事業

行政の提案した内容に沿って計画された事業を支援

④小学校区コミュニティ活動応援コース

小学校区を基本とした地域での活動に対する支援

【審査方法】

公開審査会でのプレゼンテーション

- ・提案型事業以外は全て内部決済
- ・提案型事業についても基本的には内部協議だが、内容によっては有識者に意見を求めることもある

【審査項目】

内部決済のため計画を総合的にみて判断

（４）八幡市：市民協働活動事業補助金

【支援メニュー】

八幡市内の活動で、かつ京都府地域力再生 PJ の支援を受けた事業を支援

【審査方法】

京都府補助金交付事業が対象なので基本的に審査は必要なし

（５）京田辺市：京田辺市ええまちつくろう事業補助金

【支援メニュー】

①はじめよう補助金

設立３年未満の団体の事業を支援

②やってみよう補助金

設立３年以上の団体の事業を支援

③学生いきいき補助金

５割以上が学生である団体が行う市民活動を支援

【審査方法】

内部決済で交付を決定

【審査項目】

特に決められた項目はないが、事業内容を総合的にみて判断

２．他府県の事例

（１）山武市(千葉県)：地域まちづくり事業補助金

【支援メニュー】

①スタート部門

市民活動をこれから始めようとする団体や、組織育成段階にある団体の事業を支援

②ステップアップ部門

活動実績がある団体が他団体との連携を図り実施する、人々の連携が生まれ地域の連帯が強化される事業を支援

【審査方法】

書類審査および公開プレゼンテーション

→審査会の席上で提案団体は、提案事業内容について５分以内で発表、その後質疑応答

【審査項目】

事業の公益性

- ・地域課題を把握し、課題解決に向けた事業か、市民のニーズを適性にとらえているか
- ・山武市に新たな支えあいの担い手を想像するなど、付加価値を生み出すか

事業収支の適正性

- ・予算の見積もりや、費用対効果が評価できるか
- ・寄付、協賛金の呼びかけ、参加費などの受益者負担は適正か

事業の有効性・公開性

- ・事業対象者は幅広く設定されているか、他の市民への波及効果があるか
- ・他団体との交流を図り、本事業終了後も人々の交流や市民連携に有効な役割を果たせるか
- ・活動を効果的に行うための、地域資源の活用が提案されているか

・成果が期待できる有効な手段・手順が提案されているか ・自主的な情報収集や情報発信を行うなど、事業を広く発信するものであるか ・活動が市民や受益者の意見を聞き成果を知らせる等、住民が活動に参加する機会があるか	
事業の継続性	・事業終了後の継続的な展開について考慮されているか
事業の実現可能性	・事業場所の使用許可などの手続きが整う可能性があるか ・実現可能な企画運営の立案であるか ・企画を実施できる団体の体制が整っているか ・自主自立して活動を実施できるか
プレゼンテーション	・事業の実施に対する意欲や熱意が伝わるか
事業の先駆性・独創性	スタート部門のみ ・内容・手法に先駆性、独創性があり、新たな事業展開が期待できるか
他団体との連携	ステップアップ部門のみ ・適正な役割分担のもと、共同・連携によって相乗効果を上げることが期待されるか
団体の活動実績	ステップアップ部門のみ ・今までどのような活動、取り組みを行い、貢献をしてきたか

(2) 柏崎市(新潟県): 元気なまちづくり事業補助金

【支援メニュー】

①種まき部門	はじめて事業を実施する第一歩、将来的な目的や成果を見据えた事業計画作成のための支援
②チャレンジ部門	これまでの活動実績をへて、事業計画がある団体が、計画の整合性を検証しながら実行計画の作成するための支援
③開花部門	実行計画に一定の成果が出て、自立のための現実的なスケジュールが組まれている団体に対し、本補助金からの最後の投資となる支援

【審査方法】

種まき部門	チャレンジ・開花部門
書類審査会 (事業の説明、質疑応答)	公開審査会 (事業の公开发表、質疑応答)

【審査項目】※各部門共通、5点満点で評価

社会貢献度・公益性	・市民ニーズや地域課題をとらえているか、広く市民の共感を得られる取り組みか
計画性	・事業スケジュールや予算が適正で、事業効果が期待できるか

先進・独自性
・事業の着眼や発想が団体の専門性を活かした取り組みか ・事業を実施して他団体や市民への波及効果や今後の進展が期待できるか
自立度
・補助金だけでなく事業収益の確保など事業を継続するための仕組みができているか
協働性
・会員同士で事業の目的や課題を共有して、チームとして事業に取り組んでいるか ・他団体や行政、企業とのつながりや連携があり広く市民の協力が得られるか
表現力
・申請書類や発表模造紙の内容が十分に記載されているか ・発表方法がわかりやすく事業に対する熱意が伝わるか
審査員特別点
・全体を通じて審査員が感じた団体や事業に対する期待度を加点

<部門別配点表>部門ごとに、審査項目の配点が異なる

	種まき部門	チャレンジ部門	開花部門
社会貢献度・公益性	○10 点	○10 点	◎20 点
計画性	5 点	◎15 点	◎20 点
先進・独自性	○10 点	◎15 点	○10 点
自立度	5 点	○10 点	◎20 点
協働性	5 点	◎15 点	◎20 点
表現力	5 点	5 点	○10 点
審査員特別点	10 点	10 点	
合計（満点）	50 点	80 点	100 点

- ・各審査員の特典の平均点が各部門の満点に対して
6割以上獲得した団体が**審査の第一段階をクリア**



- ・クリアした団体の中で、得点率（満点に対する割合）
の**上位団体から順に 予算の範囲内で「交付候補団体」を決定**
※正式な交付決定は審査会の結果に基づき市長が決定

【種まき部門】30 点以上
【チャレンジ部門】48 点以上
【開花部門】60 点以上

(3) 長浜市(滋賀県)：市民活動団体支援事業

【支援メニュー】

①団体設立支援

市民活動団体の設立にかかる費用に対し行う支援

②スタートアップ支援

組織の基盤を確立させるために行う事業に対し行う支援

③事業支援

市民団体が自主的に行う事業で継続性が期待されるものに対し行う支援

④協働事業支援

市民団体が市、または他団体と協働して行う事業で継続性が期待されるものに対し行う支援

【審査方法】

団体設立支援・スタートアップ支援	事業支援・協働事業支援
書類審査	書類審査、公開プレゼンテーション (事業の概要や PR を 10 分程度発表)

【審査項目】

公益性	事業成果が地域に還元され、地域社会の発展につながるか
必要性	地域課題を踏まえ、住民のニーズを的確にとらえているか
継続性	事業の持続的発展が見込めるか
自立性	自己努力による資金確保に努め、自立的展開に向けた展望があるか
協働性	※協働支援事業のみ 市や市民団体が連携・協力することで事業効果をより高めることができるか
実現性	事業が着実に実行できる体制、方法、予算で事業計画が立案されているか
熱意・意欲	事業を取り組もうという姿勢に熱意や意気込みを感じるか

市町村	伊根町	南丹市	長岡京市	八幡市	京田辺市	山武市	柏崎市	長浜市
事業名	地域力向上支援金事業補助金	市民提案型まちづくり活動支援交付金	市民活動応援補助金	市民協働活動事業補助金	京田辺市ええまちづくり事業補助金	地域まちづくり事業補助金	柏崎市元気なまちづくり事業補助金	市民活動団体支援事業
支援メニュー	①京都府地域力再生PJ交付事業 ②その他市民活動全般	①自由提案型事業 ②課題設定型事業 ※各コース「一般枠」「学生枠」があり	①スタートコース ②ステップアップコース ③提案公募型協働事業 ④小学校区コミュニティ活動応援コース	八幡市内の活動で、かつ京都府地域再生PJの支援を受けた事業を支援	①はじめよう補助金 ②やってみよう補助金 ③学生いきいき補助金	①スタート部門 ②ステップアップ部門	①種まき部門 ②チャレンジ部門 ③開花部門	①団体設立支援 ②スタートアップ支援 ③事業支援 ④協働事業支援
審査方法	公開プレゼンを実施し、結果を踏まえて町長が交付決定 ※審査員…区長、有識者、行政職員	行政担当課が内部職員に事業説明後、市長が交付決定	基本的には内部決裁のみ（提案型のみ有識者に意見を求めることもあり）	内部決裁のみ	内部決裁のみ	書類審査 公開プレゼンテーション実施※審査員…一般公募委員、学識経験者、行政職員	【種まき部門】 書類審査会 【チャレンジ・開花部門】 公開審査会 ※審査員…有識者、中間支援団体、行政職員	書類審査 【事業支援・協働事業支援のみ】公開プレゼンテーション 審査員…5名の有識者
審査項目	①公益性 ②発展性 ③地域性 ④必要性 ⑤先導性 ⑥魅力性 ⑦まちの活性化への寄与	①課題の把握 ②斬新さ ③実現性 ④継続性 ⑤自主性・自発性	内部決裁のため計画を総合的にみて判断（具体的な項目なし）	京都府の補助金交付事業かどうかで判断	内部決裁のため計画を総合的にみて判断（具体的な項目なし）	①事業の公益性 ②事業収支の適正性 ③事業の有効性・公開性 ④事業の継続性 ⑤事業の実現可能性 ⑥プレゼンテーション 【スタート部門のみ】 ⑦事業の先駆性・独創性 【ステップアップ部門のみ】 ⑧他団体との連携 ⑨団体の活動実績 ※各5点	①社会貢献度・公益性 ②計画性 ③先進・独自性 ④自立度 ⑤協働性 ⑥表現力 ⑦審査員特別点 ※各部門ごとに配点が異なる	①公益性 ②必要性 ③継続性 ④自立性 ⑤協働性 ⑥実現性 ⑦熱意・意欲 ※各5点